

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援marcher（マルシュ）		
○保護者評価実施期間	2024年10月1日		～ 2025年3月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 9名	(回答者数) 8名	
○従業者評価実施期間	2024年10月20日		～ 2025年3月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 6名	(回答者数) 6名	
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月20日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	生活空間は児童の特性に応じてバリアフリー化や環境上の配慮がされていたり、清潔で子ども達の活動に合わせた心地よく過ごせる空間となっている。	静の部屋、動の部屋と分かれており児童の活動内容によって部屋を適切に使うことができる	取り組み内容の準備やシミュレーションを十分に行い一人一人のニーズに合った取り組みができるようにする
2	朝のミーティングで必ず支援の振り返りをしたり支援に関する記録を職員間で共有し支援につなげている。また、1日の支援の流れを職員全員で話し合い支援に繋げている。	毎朝のミーティングで前日の支援の振り返り、今日の活動内容を共有し支援につなげる	長期休みに入るとミーティングができない時もあるのでその時は少ない時間でもミーティングを実施する
3	児童にケガなどがあつた際にはヒヤリハットを事業所内で必ず共有し、再発防止を徹底する。	事前打ち合わせをしっかりと行い、職員配置等の配慮ができる	ヒヤリハット等を活用しながら十分に職員間での情報共有を行い安全安心に努める

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育所や認定こども園、地域の子どもたちとの活動の機会は少ない。また、事業所の行事に地域の方たちを招待するといった事業運営を行っていない	夏休みだけでなく、春休み冬休みの長期休みを利用してイベントごとを増やす	長期休みの夏祭りやバザーといったイベントごとに機会があれば他事業所の招待を行うなどの工夫が必要
2	父母の会や保護者会等の開催、保護者同士の交流する機会を設ける支援は行っていない	保護者の要望があれば行う	保護者の要望があれば定期的で開催していきたい
3	お便りや支援内容についての保護者の理解がまだ十分ではない	お便りなどは作成しているが配布が不十分のため保護者に伝わらない時がある	送迎の時にしっかり保護者に渡すのを徹底する